

中国語辞書における多義語の記述について

遠藤雅裕 (中央大学)

yuanteng@tamacc.chuo-u.ac.jp

1. 概要

本報告では、常用の単音節多義語である「把」「白」など例に、日本で出版された中国語辞書（中日辞典）の語義記述を比較検討し、よりよいと思われる記述モデルを提示する。

比較検討内容は、以下の通りである。

- (1) 同音異義語扱いの有無と語義項目数
- (2) 語義項目の配列

2. 調査対象と事例分析対象

2.1. 調査対象の辞書

表1 調査対象辞書一覧

	略称	書名	出版年	出版社	見出し語数
1	現漢	現代汉语词典(第5版)	2005	商务印书馆	65,000
2	大修	中日大辞典(増訂第2版)	1987	大修館書店	140,000
3	プロ	<i>プロダクション中国語辞典</i>	1998	小学館	65,000
4	三省	クラウン中日辞典	2001	三省堂	65,000
5	講談	中日辞典(第2版)	2002	講談社	87,000
6	白水	中国語辞典	2002	白水社	65,000
7	朝日	<i>はじめての中国語学習辞典</i>	2002	朝日出版社	10,000
8	小学	中日辞典(第2版)	2003	小学館	85,000
9	東方	東方中国語辞典	2004	東方書店	42,000

*斜体は小型辞典

2.2. 単音節多義語として、以下の11語を選択した。

把、白、党、倒 dào、低、管、交、口、皮、去、走

3. 各辞典の常用多義語の扱い

3.1. 多義語か同音異義語か

2種類の同音異義語

- (1) a. “坐”と“作”
b. “面” (“面” / “麵”)
- (2) “把1” “把2” “把3” …→本報告で扱うもの。

見出し字を1つにするか、複数にするか。

【傾向】「一極派」と「多極派」

単一見出し字 (一極派) 大修、三省、小学、プロ

複数見出し字 (多極派) 上記以外

3.2. 語義項目数

語義の細分化の傾向を見る。

【傾向】白水>講談>小学~大修~東方~三省

表2 見出し字数と語義項目総数

	現漢		大修		三省		講談		白水		小学		東方		プロ		朝日	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
把	4	19	1	25	1	20	2	19	4	22	1	20	5	20	1	14	3	9
白	3	15	1	16	1	13	2	16	3	17	1	13	4	14	1	4	1	5
党	1	4	1	4	1	5	1	7	1	6	1	5	1	6	1	4	1	1
倒	2	8	1	5	1	8	1	10	2	14	1	11	2	10	1	7	1	3
低	1	4	1	6	1	5	1	5	1	9	1	4	1	4	1	2	1	3
管	2	15	1	9	1	10	1	17	2	15	1	13	2	14	1	8	1	3
交	2	11	1	14	1	8	2	12	2	9	1	11	2	11	1	9	1	3
口	1	12	1	15	1	8	1	17	1	18	1	16	1	16	1	7	1	7
皮	1	11	1	9	1	11	1	13	1	11	1	11	1	11	1	8	1	3
去	3	15	1	14	1	21	2	16	3	21	1	18	4	11	1	10	2	5
走	1	11	1	11	1	11	1	9	1	11	1	9	1	9	1	8	1	7
計		125		128		120		141		153		131		126		81		49

A 見出し字数

B 語義項目総数

3.3. 細分化の原因

(1) 構成成分還元主義

ex. 光陰、去声、汉语

(2) 限られたコロケーションの意味

ex. 倒茶

4. 語義配列の特色

4.1. 年代順（語義派生順）

4.2. 頻度順

4.3. 意味関係順

5. 各辞典の語義配列方針

5.1. 3種類の配列方法

- ① 年代順？ 講談
- ② 頻度順 プロ
- ③ 明確な方針不明 その他全て

表3 本義と基本義の記述状況

	現漢	大修	三省	講談	白水	小学	東方	プロ	朝日
--	----	----	----	----	----	----	----	----	----

去	行く	1	1	1	6	1	1	1-1	1	1
	去る	2	3	8	1	6/7	7	2-1	-	-
走	歩く	1	1	1	2	2	1	1	1	1
	走る	2	2	5	1	7	2	2	-	-

数字は語義項目番号。

【問題点】

- (1) 語義項目の配列の原則が不明確であるため、各語義項目間の関連が不明確。よって、語義の全容がつかみにくい。
- (2) 年代順配列は、原義・古儀・廃用義が前に来るために、現代語の学習者にとっては不親切。

5.2. 「講談」の派生ツリー

語義（字義）展開のパターンを提示したものとしては画期的。

問題点は、(1) 展開パターンが明示されていない、(2) 共時パターンと通時的パターンがあまり整理されていない点。

6. 多義語分析の方針

6.1. 主として瀬戸賢一等 2007 の方針に倣う。

- (1) 語義項目間の関係を明らかにする。
- (2) 語義項目数は多いことを良しとしない。
- (3) 解説的語義記述を心がける。

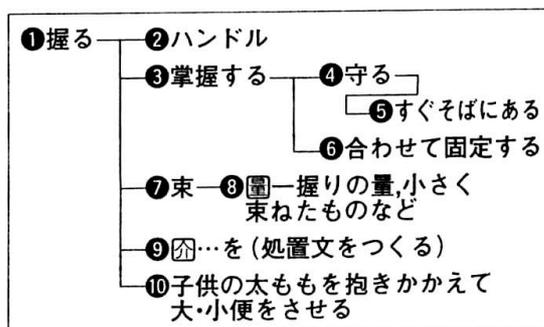
6.2. 中心義を設定し、各語義項目をそこからの共時的拡張として捉える。

語義は、一般的に「具象から抽象へ」という拡張パターンをとる。

- ① メタファー(metaphor) 月見うどん 猫耳朵
- ② メトニミー(metonymy) きつねそば 东坡肉
- ③ シネクドキ(cynecdoche) 親子丼 青椒肉丝
- ④ 文法化(grammaticalization) (瀬戸 2007 にはない)
- ⑤ 象徴化(symbolization) (瀬戸 2007 にはない)青春、朱夏、白秋、玄冬

7. 事例 1 把（動詞＞前置詞）

7.1. 「講談」の派生ツリー

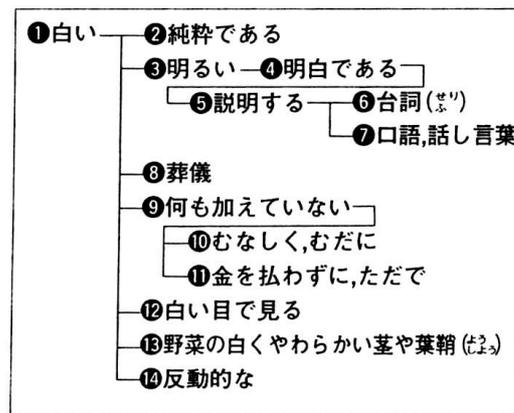


【特色】

- (5) 〔動詞〕 出入り口などの支配権を握る, 見張る。 着大門收票。大修
- (6) 〔動詞〕 (権力・支配権を) 握る, 掌握する。 一切工程都由他把着不放手。大修
- (7) 〔名詞〕 器物の取っ手など「つかむ」「握る」ための部位。取っ手, ハンドル。
- (8) 〔名詞〕 束。
- (9) 〔量詞〕
- (10) 〔前置詞〕 主として「把+NP+VP」という構文で用いる。この構文は「NPをVしてある結果を生じさせる」という意味を持つ。使役の意味を帯びることもある。

8. 事例2 白 (形容詞>副詞)

8.1. 「講談」の派生ツリー



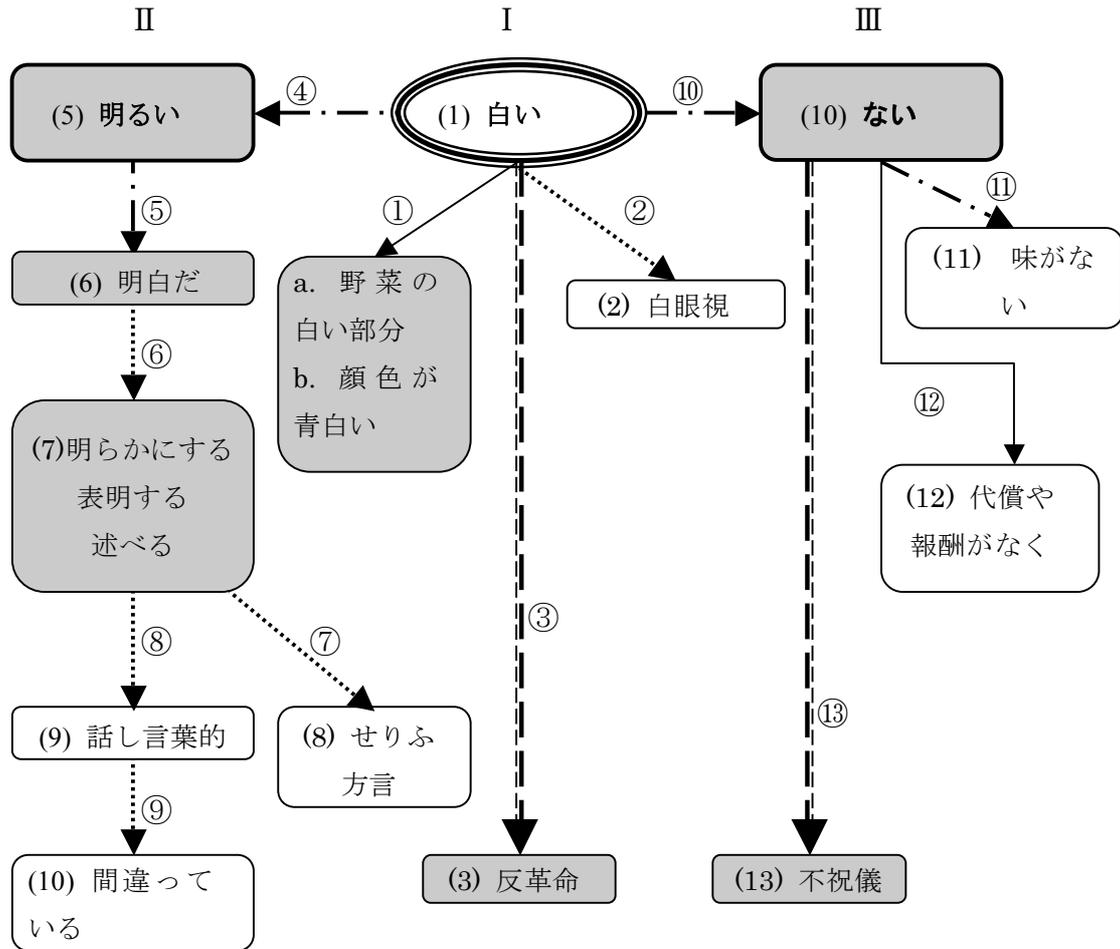
【特色】

- (1) 語義項目間の関係が不明確であるが、基本的な展開パターンは筆者のものと同じ。

8.2. 語義展開図

【矢印の意味】

- ① a. [metonymy] 〔特性/特性でもの〕 野菜の白い部分
b. [metaphor] 〔特性類似〕 顔色が青白い
- ② [metonymy] 〔時間/共起〕 人を睨むと白目の部分が大きくなる>白目で睨む
- ③ [symbolization] 反革命の象徴<フランス革命で王党派が白百合をシンボルにした。
あるいは[metonymy] 〔特性/特性でもの〕
- ④ [metaphor] 〔特性類似〕 明るい
- ⑤ [metaphor] 〔特性類似〕 (物事が) 明らかである
- ⑥ [metonymy] 〔時間/結果で原因〕 明らかにする・述べる
- ⑦ [metonymy] 〔プロセスで対象〕 せりふ
- ⑧ [metonymy] 〔特性/もので特性〕 話し言葉的
- ⑨ [metonymy] 〔時間/共起〕 間違っている<話の内容は往々にして不正確
- ⑩ [metaphor] 〔特性類似〕 空白・何も加えていない
- ⑪ [metaphor] 〔特性類似〕 味などが無い
- ⑫ [synecdoche] 〔類で種?〕 報酬・代償がなく
- ⑬ [symbolization] 不吉・葬儀の象徴<「ない」ということはよくないこと



*網かけ部分は、拘束形式。

8.3. 語義配列私案

語義展開の中心義を「白い」(I)とし、中心的な展開義を「明るい」(II)と「ない」(III)として整理。

I

- (1) 〔形容詞〕 白い
 - a. 野菜の白い部分
 - b. 顔色が青白い

- (2) 〔動詞〕 白目で睨む
- (3) 〔語構成成分〕 反革命の象徴

II

- (4) 〔語構成成分〕 明るい
- (5) 〔語構成成分〕 (物事が) 明らかである
- (6) 〔語構成成分〕 明らかにする・述べる
- (7) 〔名詞〕 せりふ
- (8) 〔形容詞〕 話し言葉的な

(9) 〔形容詞〕 (言葉などが) 間違っている

III

(10) 〔語構成成分〕 空白である・何も加えていない

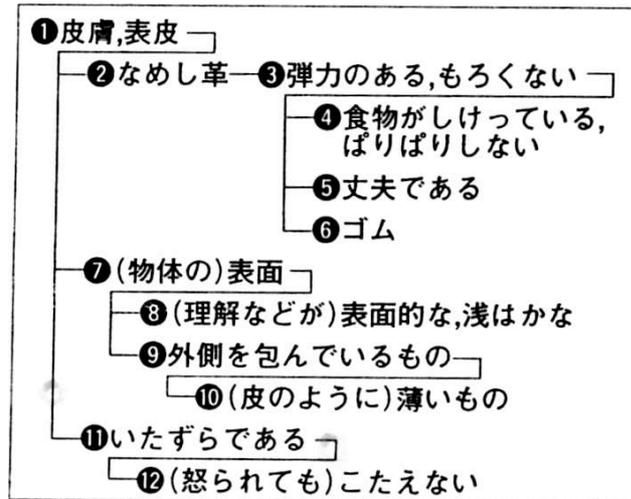
(11) 〔形容詞〕 味などが無い・薄い

(12) 〔副詞〕 報酬・代償がなく

(13) 〔語構成成分〕 不祝儀の象徴

9. 事例3 皮 (名詞>形容詞)

9.1. 「講談」の派生ツリー



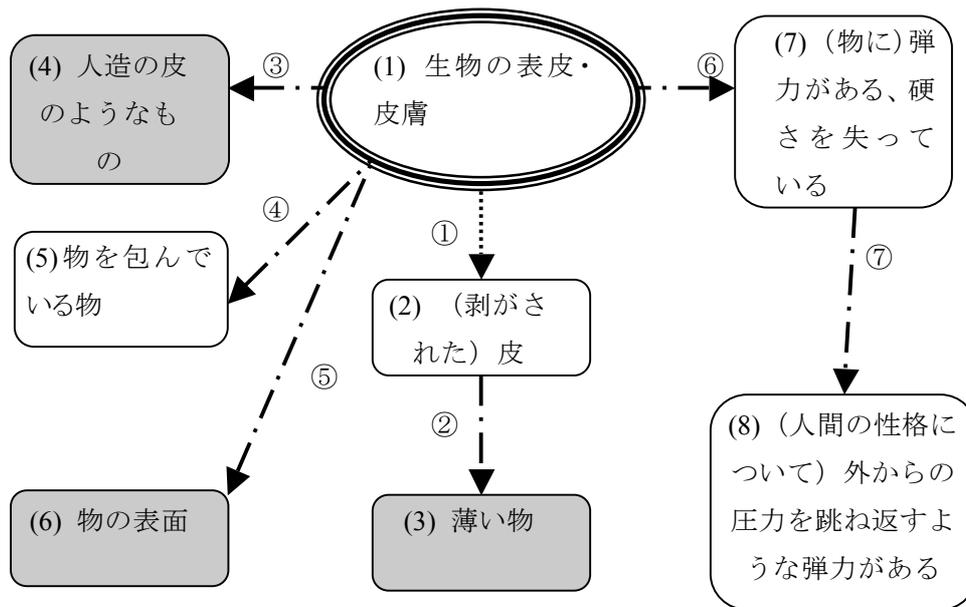
【特色】

語義項目間の関係が不明確で、特に①>⑪>⑫と⑨>⑩の2箇所の展開パターンが不可解。

9.2. 語義展開図

【矢印の意味】

- ① [metonymy] 〔時間/素材で結果〕 剥がされた皮
- ② [metaphor] 〔特性類似〕 薄いもの
- ③ [metaphor] 〔特性類似〕 人造の皮に類似したもの
- ④ [metaphor] 〔特性類似〕 何かを包んでいる
- ⑤ [metaphor] 〔特性類似〕 最も外側にある
- ⑥ [metaphor] 〔特性類似〕 皮には弾力がある
- ⑦ [metaphor] 〔特性類似〕 弾力があるということは圧力を跳ね返す



9.3. 語義配列私案

- (1) [名詞] 生物の表皮・皮膚。
- (2) [名詞] 剥がされた製品としての皮。
- (3) [語構成成分] 薄い物。
- (4) [語構成成分] 人造の皮状のもの。
- (5) [名詞] 物を包んでいるも物。
- (6) [語構成成分] 物の表面。
- (7) [形容詞] 弾力がある。硬さを失っている。ぱりぱりしない。花生皮了。
- (8) [形容詞] 外からの圧力を跳ね返す性格である。へこたれない。やんちゃである。
这还子皮得很。

10. まとめとモデルの提案

10.1. 問題点

- (1) 大型の辞書ほど語義を細分化する傾向にある。
- (2) 語義項目間の関係が不明。
- (3) 親字主義の場合、拘束形式の意味まで記述。

10.2. 提案

- (1) 語義配列の指針を明確化。本報告では意味関係順を推奨。
- (2) 語義項目間の関係を明示。
- (3) 親字主義から単語主義へ。

11. 参考文献

- 遠藤雅裕 2005. 「理想の中国語辞書－語義記述と収録語について－」『辞書のチカラ』好文出版。
 瀬戸賢一 2005. 『よくわかる比喻－ことばの根っこをもっと知ろう』研究社。
 瀬戸賢一等 2007. 『英語多義ネットワーク辞典』小学館。